

一般社団法人日本繊維機械学会 第79回年次大会 研究発表・ポスター・製品展示の募集

一般社団法人日本繊維機械学会は昭和23年に創立以来、「繊維ならびに繊維機械に関する学術技術の進歩発展を図り、かつこれに関する工業の発展に資すること」を目的として諸活動を展開してまいりました。

第79回年次大会は、2026年5月28日（木）、29日（金）の両日に開催いたします。本学会の年次大会の特色は、繊維機械を含む繊維・繊維製品がかかわる幅広い領域を網羅していること、製品紹介セッションにおける会員企業を中心とした活発な論議がなされていることにあります。今回も会員の皆様にとって有意義なものとなるよう、幅広い分野からの発表を募集します。

年次大会は、学術的・技術的交流を深め、情報交換、意見交換をする最も良い機会と考え、皆様とともにさらに広い分野を巻き込んだ繊維業界の発展について語り合う場としたいと思います。また、35歳以下の会員（法人会員を含む）の若手発表者を対象とした日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」、「ベストポスター発表賞」の審査もこの年次大会中に行われます。また、当学会で具体的かつ積極的に取り組んでいるSDGsに関連して「日本繊維機械学会SDGsアワード」の審査も行われます。更に前回より新設しました、学生会員を対象とした「日本繊維機械学会学生奨励賞」を設置しています。ベテランの研究者から、経験の少ない若手の方々まで、多くのみなさまにご発表いただきますことを心よりお待ちしています。

会期 2026年5月28日（木）、29日（金）

会場 大阪科学技術センター（大阪市西区轟本町1-8-4）

発表募集内容 【】はオーガナイザー、（下線）はオーガナイザーリーダー

1. 研究発表セッション

(a) テキスタイル・アパレルの科学と工学

【丸 弘樹（信州大学）、小野寺美和（甲南女子大学）、金井博幸（信州大学）、竹崎泰子（日本女子大学）、谷明日香（大阪樟蔭女子大学）、辻 創（カケンテストセンター）、山本貴則（大阪産業技術研究所）、若月 薫（信州大学）】

キーワード：テキスタイル素材（機能化、性能試験、感覚計測）、アパレル科学（快適性、防護性、適合性、シミュレーション、インテリジェント、ファッショニズム）

(b) 繊維機械の科学と工学

【金田直人（福井工業高等専門学校）、太田成利（村田機械）、喜成年泰（金沢大学）、稻村貴裕（豊田自動織機）、橋本欣三（TMTマシナリー）、藤井智成（津田駒工業）、宮下大輔（長野工業高等専門学校）、保田和則（愛媛大学）】

キーワード：繊維機械の基礎研究、流れの科学、繊維機械の設計・分析・評価・試験・制御技術、紡績技術、化合織機械、織機、編機、準備機械、織編組技術、各種繊維関連機器

(c) ナノファイバー

【向井康人（信州大学）、小野 努（岡山大学）、金 翼水（信州大学）、中根幸治（福井大学）、山下義裕（信州大学）】

キーワード：電界紡糸（エレクトロスピニング）、湿式紡糸、フィルター、マスク、メディカル、衛生用品、透湿撥水、高強度、セルロースナノファイバー（CNF）、カーボンナノチューブ（CNT）

(d) スマートテキスタイル

【中島明哉（産業技術総合研究所）、安在絵美（奈良女子大学）、石井佑弥（京都工芸繊維大学）、江口佳那（京都大学）、清野 健（大阪大学）、桑原教彰（京都工芸繊維大学）、椎木 弘（大阪公立大学）、朱 春紅（信州大学）、高松誠一（ニューヨーク州立大学）、崔 童殷（京都工芸繊維大学）、増田敦士（福井県工業技術センター）】

キーワード：スマートテキスタイル、e-テキスタイル、導伝性繊維・糸・布帛、センサ、アクチュエータ等、関連分野における技術用語一般

(e) 環境対応技術

【豊田 宏（太陽工業）、内丸もと子（colourloop）、小田涼太（三晶）、森下あおい（滋賀県立大学）】

キーワード：リデュース、リユース、リサイクル、省エネ、エコロジー、LCA、生分解性、未利用資源、バイオマス、環境負荷低減、節電、軽量、アップサイクル

(f) 繊維強化複合材料

【中西康雅（三重大学）、植松英之（福井大学）、大谷章夫（京都工芸織維大学）、倉敷哲生（大阪大学）、仲井朝美（岐阜大学）】

キーワード：FRP、熱可塑性樹脂複合材料、ナノコンポジット、有機・無機繊維、強化形態、複合効果、傾斜機能、成形加工、接着・接合・界面、CAE、デジタル技術、シミュレーション

(g) 伝統的繊維製品および匠の技

【高井由佳（大阪産業大学）、井上尚子（堺山女子学園大学）、岡本陽子（神戸女子大学）、木村章子（つたや）】

キーワード：伝統産業、天然繊維、染織文化財、きもの、組紐、編物、伝統技法、織技法、染技法、衣文化、民族衣装、保存、修理・修復、復元、文様、色彩、デザイン、データベース、文化財、技術・技能継承

(h) 染色・機能加工

【上坂貴宏（京都市産業技術研究所）、榎本雅穂（京都女子大学）、奥林里子（京都工芸織維大学）、桑原里実（和洋女子大学）、解野誠司（堺山女子学園大学）、廣垣和正（福井大学）、松原孝典（産業技術短期大学）、安永秀計（京都工芸織維大学）】

キーワード：染色・機能加工、染料／顔料／色素、機能剤、デジタル染色、超臨界染色加工、構造色、エコ染色加工、ドライプロセス（電子線／紫外線／プラズマ）、材料着色、天然染料、堅ろう度向上

(i) 産業用繊維資材および不織布

【田上秀一（福井大学）、金 慶孝（信州大学）、西村正樹（大阪産業技術研究所）、矢井田 修（日本不織布協会）】

キーワード：産業用繊維資材（テクニカルテキスタイル）、医療・衛生用、工業用、土木・建築用、自動車用、生活資材用、インテリア用、寝装用、皮革用、二次電池用などの不織布

2. 製品紹介セッション

【東山幸央（兵庫県立工業技術センター）、小久保佳昭（東レ）、嶋田慎太郎（帝人フロンティア）、谷口多哉（島精機製作所）、西田右広（東洋紡せんい）、森本将弘（倉敷紡績）】

繊維全般にわたって新旧にかかわらず製品およびプロトタイプを紹介するセッションです。その内容にPR色があつても差し支えありません。この点が、このセッションの大きな特徴です。広い範囲から製品、技術の進展に関連する発表を募集します。口頭発表とポスター発表（ポスターセッション）の製品紹介コーナーの両方に、同じ発表内容を応募することができます（ダブルエントリーでも料金は発表1件分です）。なお、ポスター発表では製品展示も可能です（ブース代は不要）。このセッションは1日目【2026年5月28日（木）】に開催します。

3. SDGs セッション

【井上真理（神戸大学）、木村照夫（京都工芸織維大学）、倉敷哲生（大阪大学）、小出真也（ボーケン品質評価機構）、武内俊次（信州大学）、中西康雅（三重大学）、西田裕紀（関西ファッショントリニティ）、三宅 肇（甲南女子大学）、宮原佑貴子（京都光華女子大学）】

2015年9月に国連で開かれたサミットにおいて、2016年から2030年までの長期的な開発の指針として、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されました。この文書の中核を成す「持続可能な開発目標」（SDGs）に向かって、当学会も具体的かつ積極的に取り組んでおり、Textile Futureと称し、当学会の取り組みに対しSDGsに関連付けを行っています。その一環として、繊維および繊維機械に関わるSDGsの取り組みを紹介する「SDGsセッション」を昨年に続き設置しました。発表者からはどのような計画で、どのようなゴールを目指すかを熱く語って頂き、参加者と共に持続可能な社会への貢献などを議論できればと思います。なお、このセッションでは、優れた発表に対して日本繊維機械学会SDGs委員会より「日本繊維機械学会SDGsアワード」を授与いたします。学術奨励賞との重複エントリーも可能です。奮っての発表をお願いいたします。

4. ポスターセッション

【若松栄史（大阪大学）】

ポスターセッションは、発表者と意見交換できる場です。このセッションには、(1) 学術研究発表コーナー、(2) 製品紹介コーナー（製品展示・実演も可能、ブース代は不要）があります。同じ講演題目による口頭発表とのダブルエントリーもできます。このセッションは1日目【2026年5月28日（木）】に開催します。

5. 学生セッション

【松岡敏生（三重県工業研究所）、井上真理（神戸大学）、木村照夫（京都工芸繊維大学）、中西康雅（三重大学）】

日本繊維機械学会では、若い学生の方々による繊維分野／学会の活性化、若手研究者・技術者の育成を目指して、学生の皆さんによる議論し、企画を共創する学生会が設立されました。大学間の垣根を越えた学会という場での学生間交流、社会活動を通じて、学生さんたちが大学では体験できない社会の俯瞰力を身につけ、新たな気づきを与える場になればと考えています。また、世代を超えた共創の場として、学生の皆さんのが本学会に所属する大学、企業の研究者や技術者と交流する機会になればと思います。

日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」について

すべての研究発表セッションを対象に（製品紹介セッション、ポスターセッション、学生セッションは該当しません）。2026年3月31日の時点で35歳以下の学会員（法人会員を含む）の若手発表者に限って、優秀な口頭発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」が授与されます。審査委員により、提出された原稿に基づく第一審査、第一審査を通過された場合、当日の口頭発表での第二審査を行います。学術奨励賞とベストポスター発表賞の同一発表内容によるダブルエントリーはできませんのでご注意下さい。ただし、ポスターセッション（審査対象外）へのダブルエントリーは可能です。

日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」について

ポスターセッションの学術研究発表コーナーを対象に（製品紹介コーナーは該当しません）、2026年3月31日の時点で35歳以下の学会員（法人会員を含む）の若手発表者に限って、優秀なポスター発表を行った登壇者（事前申請要）には日本繊維機械学会賞「ベストポスター発表賞」が授与されます。当日に審査を行います。同じ講演題目による口頭発表は可能です。ただし、同じ講演題目による学術奨励賞への応募はできません。

日本繊維機械学会「学生奨励賞」について

日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」または「ベストポスター発表賞」に事前申請した学生会員を対象に、優れた発表をおこなった学生発表者に対し、年次大会実行委員会より「日本繊維機械学会学生奨励賞」を授与いたします。この「学生奨励賞」は、日本繊維機械学会賞「学術奨励賞」および「ベストポスター発表賞」に事前申請することで自動的にエントリーされ、口頭発表、ポスター発表のそれぞれで審査を行い、授与します。

発表申込方法 学会HPの申込サイト (<https://tmsj.or.jp/annualmeeting/submission/>) よりお申込み下さい。

発表申込・要旨原稿提出締切

発表申込締切：2026年3月2日（月）17時

原稿提出締切：2026年4月6日（月）17時

その他

(1) 講演時間について（予定）

一般 講 演：20分（講演15分、質疑応答4分、次の演者との交代1分）

セッション基調講演：40分（講演35分、質疑4分、次の演者との交代1分）

(2) 口頭発表とポスター発表の両方にお申し込み（ダブルエントリー）の場合は、重複申し込みしている旨をご記載下さい。

(3) 要旨集の配布は、紙媒体（冊子）とダウンロード方式（期間限定：2026年5月22日（金）～6月5日（金））による配布を予定しています。

(4) 講演要旨集の発行日：2026年5月22日（金）

- (5) 原稿は、学会 HP の年次大会頁に掲載の原稿作成要項をご参照頂き、書式にしたがって A4 判 1 頁または 2 頁にまとめて下さい。書式から大きくはずれた原稿は受付できません。
- (6) 学術奨励賞にエントリーされた発表は A4 判 2 頁で作成して下さい。
- (7) ポスターボードの大きさ：たて 1800 mm, よこ 900 mm, A0 サイズのポスターを貼り付けることができます。
- (8) 参加登録費（事前登録日以降の登録（当日を含む）は各々 2,000 円追加）

種別	発表者	参加者（発表無）
会員	10,000 円（税別）	10,000 円（税別）
非会員	10,000 円（税別）	15,000 円（税別）
学生会員	3,000 円（税別）	3,000 円（税別）
学生非会員	5,000 円（税別）	5,000 円（税別）

※学生非会員の方：学生会員の年会費は 2,000 円です。この機会にご入会下さい。

※懇親会参加費：お一人 6,000 円（税別）

- (9) 発表者は自動的に参加登録されます。あらかじめご了承下さい。
- (10) 年次大会 HP (以下 URL) にて、前回の第 78 回年次大会の様子が閲覧できます。
<https://tmsj.or.jp/wp/wp-content/uploads/2025/11/AM78.pdf>

問合せ先 日本織維機械学会 第 79 回年次大会実行委員会

TEL. 06-6443-4691, Email : info@tmsj.or.jp

第 79 回年次大会実行委員会

実行委員長 松岡敏生（三重県工業研究所）
 副委員長 辻 創（カケンテストセンター）、中西康雅（三重大学）、橋本欣三（TMT マシナリー）、山本貴則（大阪産業技術研究所）
 実行委員 安在絵美（奈良女子大学）、石井佑弥（京都工芸織維大学）、稻村貴裕（豊田自動織機）、井上尚子（帽山女学園大学）、井上真理（神戸大学）、上坂貴宏（京都市産業技術研究所）、植松英之（福井大学）、江口佳那（京都大学）、榎本雅穂（京都女子大学）、太田成利（村田機械）、大谷章夫（京都工芸織維大学）、岡本陽子（神戸女子大学）、奥林里子（京都工芸織維大学）、小野 努（岡山大学）、小野寺美和（甲南女子大学）、金井博幸（信州大学）、金田直人（福井工業高等専門学校）、金 翼水（信州大学）、金 慶孝（信州大学）、木村章子（つたや）、木村照夫（京都工芸織維大学）、喜成年泰（金沢大学）、倉敷哲生（大阪大学）、桑原教彰（京都工芸織維大学）、桑原里実（和洋女子大学）、小出真也（ボーケン品質評価機構）、小久保佳昭（東レ）、椎木 弘（大阪公立大学）、嶋田慎太郎（帝人フロンティア）、朱 春紅（信州大学）、高井由佳（大阪産業大学）、高松誠一（ニューヨーク州立大学）、武内俊次（信州大学）、竹崎泰子（日本女子大学）、谷 明日香（大阪樟蔭女子大学）、谷口多哉（島精機製作所）、田上秀一（福井大学）、崔 童殷（京都工芸織維大学）、解野誠司（帽山女学園大学）、豊田 宏（太陽工業）、仲井朝美（岐阜大学）、中島明哉（産業技術総合研究所）、中根幸治（福井大学）、西田裕紀（関西ファッショントランジット）、西田右広（東洋紡せんせい）、西村正樹（大阪産業技術研究所）、東山幸央（兵庫県立工業技術センター）、廣垣和正（福井大学）、藤井智成（津田駒工業）、増田敦士（福井県工業技術センター）、松原孝典（産業技術短期大学）、丸 弘樹（信州大学）、宮下大輔（長野工業高等専門学校）、三宅 肇（甲南女子大学）、宮原佑貴子（京都光華女子大学）、向井康人（信州大学）、森本将弘（倉敷紡績）、矢井田 修（日本不織布協会）、保田和則（愛媛大学）、安永秀計（京都工芸織維大学）、山下義裕（信州大学）、若月 薫（信州大学）、若松栄史（大阪大学）